

第60回技能五輪全国大会「車体塗装」職種 競技課題

以下の競技課題について、安全作業に努め、競技課題内容および注意事項に従って各競技課題を時間内で完成させなさい。

1. 競技課題

日程	競技課題 No.	競技課題・配点		競技時間
1 日目	課題 1	鋼板部品の修正とぼかし塗装 I	11 点	60 分
	課題 2	3 コートパール調色	11 点	60 分
	課題 3	鋼板部品の修正とぼかし塗装 II	18 点	60 分
	課題 4-①	装飾塗装	12 点	50 分
	課題 5	実車マスキング	8 点	50 分
	課題 6	キズのみがき除去	7 点	50 分
2 日目	課題 7	鋼板部品のブロック塗装	14 点	50 分
	課題 4-②	装飾塗装	—注	50 分
	課題 8	樹脂部品修正	10 点	50 分
	課題 9	2 コートパールメタリック調色	9 点	50 分
総得点・総競技時間			100 点	530 分

注：課題 4-②の配点は課題 4-①に含む。

※：競技実施について競技者 8 名を、I、II、III、IV の 4 グループ（各 2 名）に分け、競技を行う。なお、グループの振分けについては、競技前日に実施する。

《競技全体注意事項》

- ・競技に使用する塗料については、塗料メーカーの塗装技術マニュアルに基づいて使用すること。
- ・競技時間については、競技委員の合図をもって競技の開始・終了とする。
なお、競技時間内においても各競技者が作業終了とする場合には競技委員に申し出ること。競技時間内に競技が終了しなかった場合は、その課題に対する配点は無いものとする。また、競技時間内において早く競技が終了しても加点は無いものとする。
- ・競技内容および材料関係で不明なことについては、競技委員に申し出ること。ただし、競技委員の判断により回答する必要性が無い場合については、取り扱わないこととする。また、その内容が競技を行う競技者全体にかかる場合には、競技者全員に公平に伝える。
- ・競技 1 日目、2 日目の競技開始から当日の競技課題がすべて終了するまでの間、競技者は自社の関係者を含む他者との接触は行わないこととする。
- ・塗装ブースおよび水洗ブースで競技を行うことができる競技者数は、競技パネル等の仕上がり品質維持の観点から、人数制限を設ける場合がある。この場合、作業待ちになった競技者にはロスタイムを設けることから、競技者は競技委員および競技補佐員に申し出ること。（競技委員または競技補佐員が時間管理）
- ・共有エリアの副資材等については、競技エリアへの複数個の持込みを禁止する。
- ・持参工具については、一般的に購入可能な既製品で且つ未加工のものに限る。

- ・各種塗料類および消耗品等の使用量については、環境負荷低減を意識し必要最低限の使用量とすること。
- ・スプレーガン等の吐出洗浄時は、指定の場所で行うこと。
- ・競技中に塗料を廃棄する場合、課題1および課題7のベースコートを除き（希釈前の残塗料を計量するため）、各競技者の廃棄缶で処理すること。スプレーガンの洗浄に使用した洗浄用シンナーを廃棄する場合も各競技者の廃棄缶で処理すること。また、競技中にパテを廃棄する場合、各自のパテ廃棄缶で処理すること。
- ・注意事項を守らず再三注意を受けた競技者については、ペナルティ（減点）を行うことがある。
- ・すべての競技課題に対し、フェアな精神および労働安全衛生作業に努めること。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスク着用、手洗い、「密」の回避など、基本的な感染対策に留意すること。

2. 課題内容と注意事項

課題1 鋼板部品の修正とぼかし塗装I【競技時間：60分】

各競技者は、作業指示書のとおり支給する鋼板部品（上塗り塗装状態）の損傷部を形状修正し、必要範囲にプライマーサフェーサー塗装（部分塗装）を行いなさい。なお、フェザーエッジ後、プライマーサフェーサーの足付け後、各々の状態について確認作業（審査）を行うことから、競技者は競技委員に申し出ること。

また、各確認作業（審査）を受けた後の再作業は禁止する。

塗装した鋼板部品を各競技者の競技エリアへ移動し、各競技者の作業台およびスプレーガンの洗浄等を含む競技エリアの清掃・整理整頓をもって競技終了とする。

《課題別注意事項》

- ・鋼板部品の修正とぼかし塗装Iの作業指示書は、競技開始前に配付する。
- ・鋼板部品の確認（作業指示書以外のキズや曲がり等）を競技開始と同時に行いなさい。原則として、競技途中におけるこれらの申請は受け付けない。
- ・パテ使用の要否については各競技者が判断すること。
- ・使用する塗料（パテ・プライマーサフェーサー・硬化剤・希釈剤）およびその他の副資材等は共有エリアに配置する。また、塗料計量秤は各競技者の競技エリアに配置し、塗料調合等は各競技エリアにて行いなさい。
- ・パテを使用する場合の乾燥は、各競技者の競技エリアで行うこと。また、パテの研磨時における機械研ぎ・手研ぎ、空研ぎ・水研ぎの選択は自由とする。
- ・鋼板部品の裏面およびパネル取付けスタンドへのマスキングについては不要とする。
- ・競技課題に係わるすべての塗装作業およびスプレーガンの洗浄については、塗装ブース内で行うこと。
- ・塗装後のパネル乾燥については、各競技者の競技終了後（競技時間内で競技を終えた場合は競技を終えた時点から次課題の競技開始前まで）を利用し、各競技エリアで塗装技術マニュアルに基づき実施すること。

課題2 3コートパール調色【競技時間：60分】

各競技者は、支給するベースコートおよびパールベースを使用し調色課題色である調色用見本塗板（10 cm×20 cm）と同色となるよう調色（色合わせ）を行い、提出用塗板に塗装し指定の場所へ提出しなさい。

ベースコートについては、競技開始前に配付する調色配合割合データに基づき、支給する原色塗料（5原色）を計量調色したのちに実施すること。パールベースについては、塗料調合割合表に基づき、支給する調色済み塗料を調合し実施すること。

各競技者の作業台およびスプレーガンの洗浄等を含む競技エリアの清掃・整理整頓をもって競技終了とする。

《課題別注意事項》

- ・支給資材（提出用塗板）の確認（キズや曲がり等）を競技開始と同時に行いなさい。原則として、競技途中におけるこれらの申請は受け付けない。
- ・調色用見本塗板および提出用塗板には上・下があることから両塗板を揃えること。
- ・原色塗料および調色済み塗料については、競技開始前に計量カップで支給（ベースコート：各原色塗料 100 g または 300g、パールベース：調色済み塗料 300g）するが、それ以上の補充は行わない。原色塗料以外に不足した資材等については、共有エリアにて補充すること。また、塗料計量秤は調合エリアの各競技者の作業台に配置し、塗料調色および塗料調合等は調合エリアにて行いなさい。
- ・競技課題に係わるすべての塗装作業およびスプレーガンの洗浄については、水洗ブース内で行うこと。
- ・調色用テストピースのクリヤコートにおける硬化剤の調合は自由とするが、提出用塗板のクリヤコートは硬化剤を調合し塗装すること。提出用塗板の乾燥は競技時間に含まない。
- ・提出用塗板の塗装肌については、調色用見本塗板（10 cm×20 cm）と同様の塗装肌とすること。
- ・調色用テストピースの乾燥は各競技者の調合エリアにて行うこと。
- ・塗装後の提出用塗板の乾燥については、競技終了後、競技委員が乾燥エリアにて塗装技術マニュアルに基づき実施する。

課題3 鋼板部品の修正とぼかし塗装Ⅱ【競技時間：60分】

課題1「鋼板部品の修正とぼかし塗装Ⅰ」からの継続競技。

各競技者は、プライマーサフェーサーの研磨作業、ベースコートおよびクリヤコートのぼかし塗装を行いなさい。クリヤコートの塗装肌については、展示見本パネルと同様の塗装肌とし、クリヤコートのぼかし塗装については、作業指示書のとおり行うこと。

なお、プライマーサフェーサー研磨後、クリヤコートのための足付け範囲、各々の状態について確認作業（審査）を行うことから、競技者は競技委員に申し出ること。

また、各確認作業（審査）を受けた後の再作業は禁止する。

塗装した鋼板部品を各競技者の競技エリアへ移動し、各競技者の作業台およびスプレーガンの洗浄等を含む競技エリアの清掃・整理整頓をもって競技終了とする。

《課題別注意事項》

- ・鋼板部品の修正とぼかし塗装Ⅱの作業指示書は、競技開始前に配付する。
- ・鋼板部品の確認（キズや曲がり等）を競技開始と同時に行いなさい。原則として、競技途中におけるこれらの申請は受け付けない。
- ・プライマーサフェーサーの研磨時および上塗り塗装のための足付け時における機械研ぎ・手研ぎ、空研ぎ・水研ぎの選択は自由とする。
- ・ベースコート塗料については、競技開始前に計量カップで必要量（200 g：計量調色済み）を支給するが、それ以上の補充は行わない。
- ・ベースコート以外の塗料（クリヤ・硬化剤・希釈剤・ボカシ剤）およびその他の副資材等は共有エリアに配置する。また、塗料計量秤は各競技者の競技エリアに配置する。塗料調合等は各競技エリアにて行いなさい。
- ・鋼板部品の裏面およびパネル取付けスタンドへのマスキングについては不要とする。
- ・競技課題に係わるすべての塗装作業およびスプレーガンの洗浄については、塗装ブース内にて行うこと。
- ・塗装後のパネル乾燥については、競技終了後、競技委員が乾燥エリアにて塗装技術マニュアルに基づき実施する。
- ・残ったベースコート塗料（希釈前状態）については、計量するため廃棄しないこと。

課題4 装飾塗装【競技時間：100分（①50分+②50分）】

各競技者は、作業指示書のとおり支給する装飾塗装用部品に支給塗料を使用し、ベースコート（1液型仕様、2液型仕様は任意）を塗装後、クリヤコートのブロック塗装まで行いなさい。

なお、競技については、各競技者が作業計画（提出不要）を立て課題4-①と課題4-②の中で作業・時間配分（乾燥含む）を行い、課題4-②終了時までまでに全ての作業を終了させること。

塗装した部品を各競技者の競技エリアへ移動し、各競技者の作業台およびスプレーガンの洗浄等を含む競技エリアの清掃・整理整頓をもって競技終了とする。

《課題別注意事項》

- ・装飾塗装の作業指示書は、競技開始前に配付する。
- ・支給資材の確認（キズや曲がり等）を競技開始と同時に行いなさい。原則として、競技途中におけるこれらの申請は受け付けない。
- ・塗装用スタンドへのマスキングについては不要とする。
- ・ベースコート塗料については、競技開始前に計量カップで必要量（計量調色済み塗料：各150g）を支給するが、それ以上の補充は行わない。
- ・ベースコート以外の塗料（クリヤ・硬化剤・希釈剤）およびその他の副資材等は共有エリアに配置する。また、塗料計量秤は各競技者の競技エリアに配置し、塗料調合等は各競技エリアにて行いなさい。
- ・競技課題に係わるすべての塗装作業およびスプレーガン洗浄については、水洗ブース内にて行うこと。

- ・装飾塗装終了後の部品乾燥については、競技委員が乾燥エリアにて塗装技術マニュアルに基づき実施する。

課題5 実車マスキング【競技時間：50分】

各競技者は、作業指示書のとおり指定された資材を使用し、マスキングエリアにある車両についてマスキング（養生）を行いなさい。

各競技者は、マスキングエリアの清掃・整理整頓をもって競技終了とする。

《課題別注意事項》

- ・実車マスキングの作業指示書は、競技開始前に配付する。
- ・各競技者は、競技委員に指示された車両（1人1台）で競技を開始すること。
- ・競技終了後、20分間で審査および競技者入替えのための準備（マスキング剥がし等）を競技委員および競技補佐員が行う。
- ・使用する資材は、マスキングエリアの共有エリアに配置する。

課題6 キズのみがき除去【競技時間：50分】

各競技者は、支給する鋼板部品のキズをみがき作業により除去し仕上げなさい。塗装作業にてパネルについたゴミ・ブツについては不問とする。

各競技者の作業台含む競技エリアの清掃・整理整頓をもって競技終了とする。

《課題別注意事項》

- ・支給パネルの確認（キズや曲がり等）を競技開始と同時に行いなさい。原則として、競技途中におけるこれらの申請は受け付けない。
- ・キズ研磨時における空研ぎ・水研ぎの選択は自由とする。

課題7 鋼板部品のブロック塗装【競技時間：50分】

各競技者は、はじめに支給する提出用塗板（10 cm×20 cm）に支給塗料を塗装し、次に支給する鋼板部品を提出用塗板と同色となるように塗装しなさい。

鋼板部品については、プライマーサフェーサー塗装後（ウェットオンウェット仕様）、ベースコート（1液型仕様）およびクリヤコートのブロック塗装を行いなさい。

なお、クリヤコートの塗装肌については、展示見本パネルと同様の塗装肌とすること。

提出用塗板は指定の場所へ提出、鋼板部品は各競技者の競技エリアへ移動し、各競技者の作業台およびスプレーガンの洗浄等を含む競技エリアの清掃・整理整頓をもって競技終了とする。

《課題別注意事項》

- ・支給資材（鋼板部品および提出用塗板）の確認（キズや曲がり等）を競技開始と同時に行いなさい。原則として、競技途中におけるこれらの申請は受け付けない。
- ・ベースコート塗料については、競技開始前に計量カップで必要量（400 g：計量調色済み）を支給するが、それ以上の補充は行わない。

- ・ベースコート以外の塗料（プライマーサフェーサー・クリヤ・硬化剤・希釈剤）およびその他の副資材等は共有エリアに配置する。また、塗料計量秤は各競技者の競技エリアに配置し、塗料調合等は各競技エリアにて行いなさい。
- ・鋼板部品の裏面およびパネル取付けスタンドへのマスキングは不要とする。
- ・提出用塗板の塗装については、調色用テストピースホルダに取付け、調色用テストピースホルダを持って行うこと。
- ・競技課題に係わるすべての塗装作業およびスプレーガンの洗浄については、塗装ブース内にて行うこと。
- ・塗装後のパネル乾燥については、競技終了後、競技委員が乾燥エリアにて塗装技術マニュアルに基づき実施する。
- ・残ったベースコート塗料（希釈前状態）については、計量するため廃棄しないこと。

課題8 樹脂部品修正【競技時間：50分】

各競技者は、作業指示書のとおり支給する樹脂部品にある2ヶ所の損傷のうち、損傷Aはパテ付け作業まで、損傷Bはパテ付け作業からパテ研磨作業までの形状修正を行いなさい。

なお、フェザーエッジ後の状態（損傷Aおよび損傷Bの2ヶ所）について確認作業（審査）を行うことから、競技者は、競技委員に申し出て確認作業を受けること。また、各確認作業（審査）を受けた後の再作業は禁止する。

各競技者の作業台および競技エリアの清掃・整理整頓をもって競技終了とする。

《課題別注意事項》

- ・樹脂部品修正の作業指示書は、競技開始前に配付する。
- ・支給材料および支給された部品の確認（キズや曲がり等）を競技開始と同時に行いなさい。原則として、競技途中におけるこれらの申請は受け付けない。
- ・研磨作業については、機械研ぎ・手研ぎ、空研ぎ・水研ぎの選択は自由とする。
- ・使用するパテおよびその他の副資材等は共有エリアに配置する。また、塗料計量秤については、各自の競技エリア内の作業台に設置し、塗料調合等の作業は各自の競技エリア内にて行うこと。

課題9 2コートパールメタリック調色【競技時間：50分】

各競技者は、調色配合割合データに基づき支給する原色塗料（7原色）を使用し計量調色後、調色課題色である調色用見本塗板（10 cm×20 cm）と同色となるよう調色（色合わせ）を行い、提出用塗板に塗装し指定の場所へ提出しなさい。

各競技者の作業台およびスプレーガンの洗浄等を含む競技エリアの清掃・整理整頓をもって競技終了とする。

《課題別注意事項》

- ・調色配合割合データについては、競技開始前に配付する。
- ・支給資材（提出用塗板）の確認（キズや曲がり等）を競技開始と同時に行いなさい。原則として、競技途中におけるこれらの申請は受け付けない。

- ・ 調色用見本塗板および提出用塗板には上・下があることから両塗板を揃えること。
- ・ 原色塗料については、競技開始前に計量カップで支給（各原色塗料 100g または 200g）するが、それ以上の補充は行わない。原色塗料以外に不足した資材等については、共有エリアにて補充すること。また、塗料計量秤は調合エリアの各競技者の作業台に配置し、塗料調色および塗料調合等は調合エリアにて行いなさい。
- ・ 競技課題に係わるすべての塗装作業およびスプレーガンの洗浄については、水洗ブース内で行うこと。
- ・ 調色用テストピースのクリヤコートにおける硬化剤の調合は自由とするが、提出用塗板のクリヤコートは硬化剤を調合し塗装すること。提出用塗板の乾燥は競技時間に含まない。
- ・ 提出用塗板の塗装肌については、調色用見本塗板（10 cm×20 cm）と同様の塗装肌とすること。
- ・ 調色用テストピースの乾燥は各競技者の調合エリア内にて行うこと。
- ・ 塗装後の提出用塗板の乾燥については、競技終了後、競技委員が乾燥エリアにて塗装技術マニュアルに基づき実施する。

3. 競技使用部品

部 品 名	詳細
鋼板部品	競技開始前に公表
樹脂部品	
装飾塗装用部品	

4. 補修資材等

(1) 共有エリア補修資材等

区 分	品 名	備 考
資 材	マスキングテープ各種	幅・番手・種類等については、 【別紙1】参照
	テープ付きマスキングペーパー（ハンディディスプレイペンサード付き）	
	マスキングペーパー各種	
	マスキングビニール	
	ソフトテープ各種	
	スカッフソフト各種	
	スコッチブライト各種	
	ダブルアクションサンダ用ペーパー各種	
	空研ぎペーパー各種	
	耐水ペーパー各種	
	PPカップ各種	
	ウォッシュコンパウンド	
	ペイントストレーナ	
	調色用テストピース	
	調色用テストピースホルダ	
	布ウエス	
紙ウエス		
機 器	人工太陽照明灯	専用エリア
その他	展示見本パネル	ブロック塗装状態

(2) 競技者用補修資材等 (貸与品)

区分	品名	数量	備考
資材	鋼板部品	3	
	樹脂部品	1	
	装飾塗装用部品	1	
	脱脂剤 (レタン PG エコ クリーナー)	1	
	洗浄用シンナー (エコラッカーシンナー)	1	
	洗浄缶 (廃塗料等)	1	
	洗浄缶 (パテペラ洗浄用)	1	
	ゴミ箱	1	
	塗料調合割合表	1	
	X スタンド	1	
	ベニヤ板	1	
	塗装スタンド	1	

(3) 競技ごとに準備する資材 (共有エリアに配置する資材は数量 (-) と記載)

課題1 : 鋼板部品の修正とぼかし塗装 I

区分	品名	数量	備考
資材	パテ (NEOX ポリパテ 180 ベース (標準形))	—	
	パテ硬化剤 (パテグラウン硬化剤)	—	
	プライマーサフエーサー (COODE フィラー グレー (L55) ベース)	—	
	プライマーサフエーサー硬化剤 (COODE 硬化剤)	—	
	希釈シンナー (レタン PG エコ シンナー #10・#20・#30)	—	プライマーサフエーサー用

課題2 : 3 コートパール調色

区分	品名	数量	備考
資材	ベースコート		
	原色塗料 (レタン PG ハイブリッドエコ 361 木目白エコー)	1	
	原色塗料 (レタン PG ハイブリッドエコ 531 ホワイト)	1	
	原色塗料 (レタン PG ハイブリッドエコ 582 チンチングブラック)	1	
	原色塗料 (レタン PG ハイブリッドエコ 584 インテリアンレッド)	1	
	原色塗料 (レタン PG ハイブリッドエコ 618 ティーフグリーン)	1	
	硬化剤 (レタン PG ハイブリッドエコ 硬化剤)	1	ベースコート用
	調色配合割合データ	1	ベースコート用
	パールベース		
	原色塗料 (レタン PG ハイブリッドエコ 002 アルミコントロール剤)	1	調色済み塗料
	原色塗料 (レタン PG ハイブリッドエコ 003 スカシコントロール剤)		
	原色塗料 (レタン PG エコパールキット 277 クリスタルホワイト)		
原色塗料 (レタン PG エコパールキット 287 クリスタルレッド)			

区分	品名	数量	備考
	希釈シンナー (レタン PG エコ シナー #10・#20・#30)	—	ベースコート・クリヤコート 兼用
	クリヤ (レタン PG エコ クリヤ HX (Q) ベース (2:1))	—	
	クリヤ硬化剤 (レタン PG エコ クリヤ HX スタンダード 硬化剤)	—	
	調色用艶出しスプレー (レタン PG カラーマッチングスプレー)	—	
	調色用見本塗板	1	
	提出用塗板	1	

課題3：鋼板部品の修正とぼかし塗装Ⅱ

区分	品名	数量	備考
資材	調色済み塗料 (レタン PG ハイブリッドエコ)	1	
	希釈シンナー (レタン PG エコ シナー #10・#20・#30)	—	ベースコート・クリヤコート 兼用
	ボカシ剤 (レタン PG エコ ボカシ剤)	—	ベースコート・クリヤコート 兼用
	クリヤ (レタン PG エコ クリヤ HX (Q) ベース (2:1))	—	
	クリヤ硬化剤 (レタン PG エコ クリヤ HX スタンダード 硬化剤)	—	

課題4：装飾塗装

区分	品名	数量	備考
資材	調色済み塗料 (レタン PG ハイブリッドエコ)	各1	
	硬化剤 (レタン PG ハイブリッドエコ 硬化剤)	1	ベースコート用
	希釈シンナー (レタン PG エコ シナー #10・#20・#30)	—	ベースコート・クリヤコート 兼用
	クリヤ (レタン PG エコ クリヤ HX (Q) ベース (2:1))	—	
	クリヤ硬化剤 (レタン PG エコ クリヤ HX スタンダード 硬化剤)	—	

課題5：実車マスキング

区分	品名	数量	備考
資材	—	—	

課題6：キズのみがき除去

区分	品名	数量	備考
資材	—	—	

課題7：鋼板部品のブロック塗装

区分	品名	数量	備考
資材	プライマーサフェーサー (COODE W/W プライマープラス グレー (L55) ベース)	—	

区分	品名	数量	備考
	プライマーサフェーサー硬化剤 (COODE 硬化剤)	—	
	希釈シンナー (レタン PG エコ シナー #10・#20・#30)	—	プライマーサフェーサー・ ベースコート・クリヤコート 兼用
	調色済み塗料 (レタン PG ハイブリッドエコ)	1	
	クリヤ (レタン PG エコ クリヤ HX (Q) ベース (2:1))	—	
	クリヤ硬化剤 (レタン PG エコ クリヤ HX スタンダード 硬化剤)	—	
	提出用塗板	1	

課題 8 : 樹脂部品修正

区分	品名	数量	備考
資材	プライマー (KAR プラスチックプライマー NE (エアゾール))	—	
	パテ (ECO パテ 3 ホリ ベース)	—	
	パテ硬化剤 (パテ イエロー硬化剤)	—	

課題 9 : 2 コートパールメタリック調色

区分	品名	数量	備考
資材	原色塗料 (レタン PG ハイブリッドエコ 003 スカシコントロール剤)	1	
	原色塗料 (レタン PG ハイブリッドエコ 111 メタリックホワイト)	1	
	原色塗料 (レタン PG ハイブリッドエコ 400 ティープブラック)	1	
	原色塗料 (レタン PG ハイブリッドエコ 664 ネビュラブルー)	1	
	原色塗料 (レタン PG ハイブリッドエコ 671 プレシキスブルー)	1	
	原色塗料 (レタン PG ハイブリッドエコ 843 ファジーマタリック)	1	
	原色塗料 (レタン PG エコパールキット 280 パシフィックブルー)	1	
	調色配合割合データ	1	
	希釈シンナー (レタン PG エコ シナー #10・#20・#30)	—	ベースコート・クリヤコート 兼用
	クリヤ (レタン PG エコ クリヤ HX (Q) ベース (2:1))	—	
	クリヤ硬化剤 (レタン PG エコ クリヤ HX スタンダード 硬化剤)	—	
	調色用艶出しスプレー (レタン PG カラーマッチングスプレー)	—	
	調色用見本塗板	1	
	提出用塗板	1	

5. 持参工具一覧表

区 分	品 名	備 考 ^{注2}
材料・資材 (必須)	作業服、安全靴、作業帽子、塗装服	一式
	保護具 (防毒マスク吸収缶付き)	JIS 規格品
	〃 (防塵マスク)	JIS 規格品
	〃 (保護めがね)	
	〃 (耐溶剤性手袋)	
	〃 (耳栓)	
	手袋・軍手各種	
	スプレーガン (ハンドピースガン不可)	カプラー付 ^{注1}
	エアダスターガン	カプラー付 ^{注1}
	吸塵機	
	ダブルアクションサンダ	
	赤外線乾燥機 (100V)	
	パテ定盤	
	パテ付け用ヘラ (パテワイパは不可)	
	ハンドファイル (空研ぎ・水研ぎ用)	
	ポリッシャー	
	バフ各種	
	コンパウンド各種	ノンシリコンに限る
	100V 用延長コード (3m 程度)	
	エアホース (3m 程度)	2本 (カプラー付 ^{注1})
	塗料計量秤	
	定規各種・メジャー	JIS 規格品
	ハサミ	
筆記具各種		
材料・資材 (任意)	原色塗料見本帳 (色足表)	
	PPカップ・PPSカップ各種	
	攪拌棒	
	コーキングヘラ	
	ガイドコート	
	タッククロス	
	洗浄用刷毛	
	ウォッシュコンパウンド	
	水きりタオル	
	霧吹き	
	メモ用紙、電卓	
	ピンセット	
	スポット	
	時計・タイマー	

区 分	品 名	備 考 ^{注2}
	非接触温度計・卓上型温度計	
	塗装ブース移動用トレイ	スプレーガン・塗料運搬用
	ビニールカッター	
	バケツ	
	作業ライト	塗装ブースおよび水洗ブースで使用する場合は、工場電気設備防爆指針に準拠した製品（ゾーン2相当）であること。

注1：カプラは20PFFまたは20PFに限る。

注2：「備考」欄に数量の記載がない場合は自由とする。

注3：上記に記載がなく、一般的に購入可能な既製品で且つ未加工の資材の使用を希望する者は、大会2ヶ月前までに中央職業能力開発協会に申し出ること（競技委員で検討し対応する。）

第60回技能五輪全国大会「車体塗装」職種 会場設備基準

区分	品名	寸法又は規格	数量	備考
設備類	競技エリア	3.0m×3.0m	8	
	エア配管	カプラ 20PF _F ・20PF	各2	競技エリア内
	電源	100V 2口	各2	
	作業台	1200mm×750mm×900mm	各1	
	塗装ブース	6,500 mm (L) ×4,000 mm (W)	1	
	水洗ブース	3,340mm・3,290mm・3,460mm・ 3,150mm (W)	各1	調色エリア
	人工太陽灯	セリック (SOLAX500)	2	調色エリア
	エアコンプレッサー	—注	—	
	空気タンク	—注	—	

注：工場設備のため確認不可であったが各所平均で5kgf/cm²の圧力で利用可能のため大会運営上の問題はない。

競技会場：マツダ株式会社

メーカー	品名	種類
3M	マスキングテープ	6mm 幅
		18mm 幅
		24mm 幅
		50mm 幅
	テープ付マスキングペーパー	550mm 幅
	マスキングペーパー	152 mm幅
	※スコッチスリムライエフ ロンテパ° (6864) に設置	457 mm幅
	マスキングビニール	5000mm 幅程度
	ソフトテープ	13 mm幅
		21 mm幅
	スカッフソフト	#1500 相当
	スコッチブライト	#400 相当
		#800 相当
		#1500 相当
	ダブルアクションサンダ (125mm 径) 用ペーパー	粒度 120
		粒度 180
		粒度 240
		粒度 320
		粒度 400
		粒度 600
		粒度 800
		粒度 1000
	フックイトクリーンサンディング ロール (75mm 幅)	120 番相当
		180 番相当
		240 番相当
		320 番相当
		400 番相当
		600 番相当
	足付けソフトシート (130mm×170mm)	P400
		P600
		P800
		P1000
	トライザクトフィニッシングディスク (127mm 径)	P3000
スキャロップパッド (31mm 径)・トラ イザクトディスク (32mm 径)	2500 番相当	
	3000 番相当	

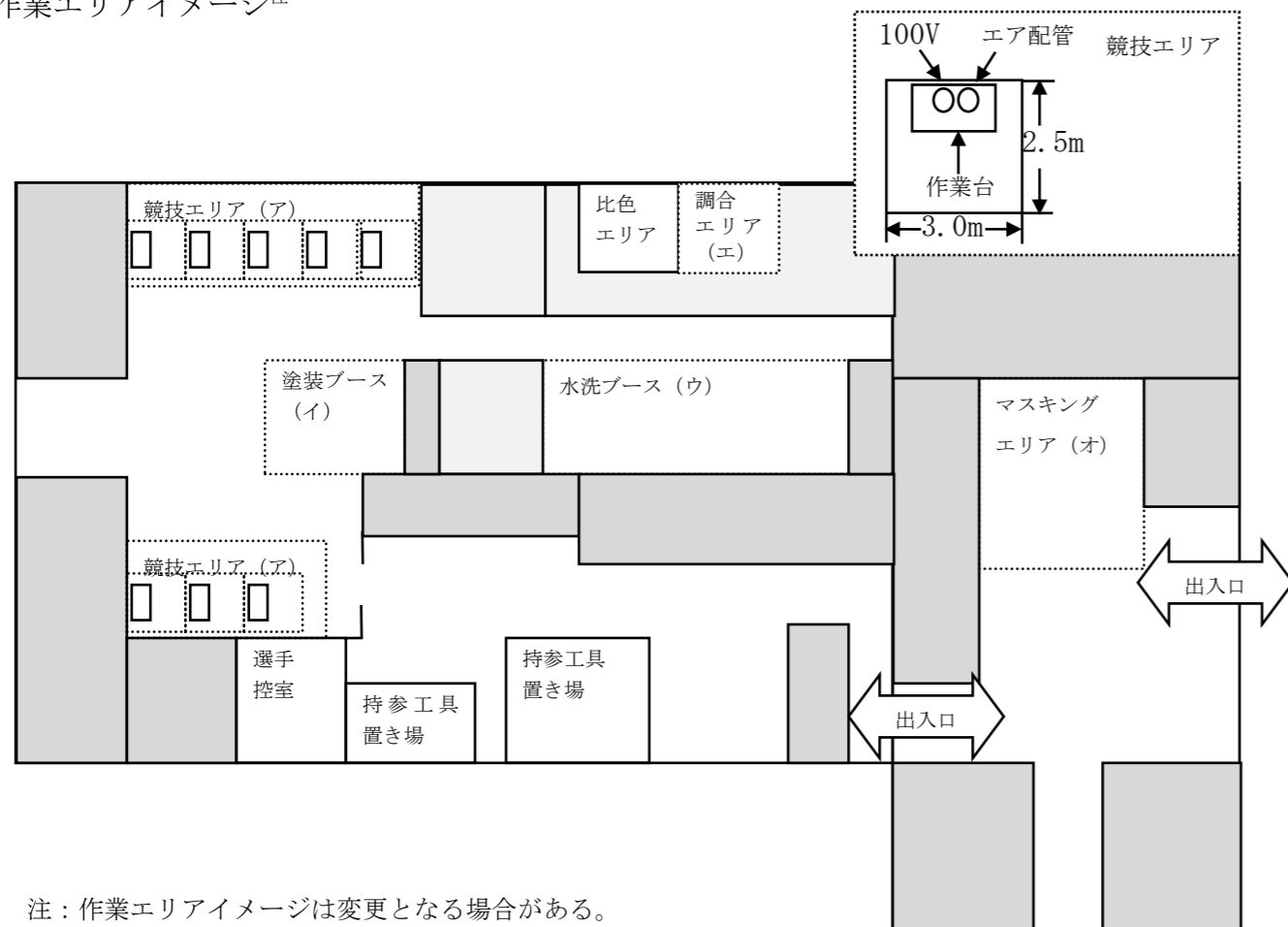
メーカー	品名	種類
Festool	ダブルアクションサンダ (125mm径) 用ペーパー	D125 P120
		D125 P180
		D125 P240
		D125 P280
		D125 P400
		D125 P500
		D125 #1000
		D125 #2000
		D125 #4000
	サンディングペーパー (80mm×133mm)	80×133 P120
		80×133 P180
		80×133 P240
		80×133 P280
		80×133 P400
—	耐水ペーパー ^注	P120・180・240・320・400・600・800・1000・1500
ヨトリヤマ	調色セット1ℓ	1L (101) ※ホルダー付き
	計量カップ	150 cc (125) 300 cc (130) 550 cc (301C)
	攪拌棒	225mm (541)

注：耐水ペーパーについては、コバックス、3M製混在。

競技課題・内容

日程	課題 No.	競技課題・時間	競技内容概要
1 日 目	課題 1	鋼板ぼかしの修正とぼかし塗装 I 60 分	フェサ [®] エッジ [®] からプライマーサフェーサー塗装
	課題 2	3 コートパール調色 60 分	調色競技
	課題 3	鋼板ぼかしの修正とぼかし塗装 II 60 分	プライマーサフェーサー研磨からベースコートおよびクリアコートのぼかし塗装
	課題 4-①	装飾塗装 50 分	当日公表
	課題 5	実車マスキング 50 分	当日公表
	課題 6	キズのみがき除去 50 分	キズのみがき作業
2 日 目	課題 7	鋼板部品のブロック塗装 50 分	プライマーサフェーサー、ベースコートおよびクリアコートのブロック塗装
	課題 4-②	装飾塗装 50 分	当日公表
	課題 8	樹脂部品修正 50 分	フェサ [®] エッジ [®] からホリハテ研磨
	課題 9	2 コートパールメタリック調色 50 分	調色競技

作業エリアイメージ^注



注：作業エリアイメージは変更となる場合がある。

スケジュール（下表のスラッシュ (/) の左側が「課題 No.」、右側が「作業エリア」を表している）

	1 日目				2 日目			
	I	II	III	IV	I	II	III	IV
9:00	課題1/(ア)・(イ)	課題1/(ア)・(イ)	課題2/(ウ)・(エ)	課題2/(ウ)・(エ)	課題7/(ア)・(イ)	課題4-②/(ア)・(イ)	課題8/(ア)	課題9/(ウ)・(エ)
	課題1/(ア)・(イ)	課題1/(ア)・(イ)	課題2/(ウ)・(エ)	課題2/(ウ)・(エ)	課題7/(ア)・(イ)	課題4-②/(ア)・(イ)	課題8/(ア)	課題9/(ウ)・(エ)
	課題1/(ア)・(イ)	課題1/(ア)・(イ)	課題2/(ウ)・(エ)	課題2/(ウ)・(エ)	課題7/(ア)・(イ)	課題4-②/(ア)・(イ)	課題8/(ア)	課題9/(ウ)・(エ)
	課題1/(ア)・(イ)	課題1/(ア)・(イ)	課題2/(ウ)・(エ)	課題2/(ウ)・(エ)	課題7/(ア)・(イ)	課題4-②/(ア)・(イ)	課題8/(ア)	課題9/(ウ)・(エ)
10:00	休	休	休	休	休	休	休	休
	休	休	休	休	課題9/(ウ)・(エ)	課題7/(ア)・(イ)	課題4-②/(ア)・(イ)	課題8/(ア)
	課題2/(ウ)・(エ)	課題2/(ウ)・(エ)	課題1/(ア)・(イ)	課題1/(ア)・(イ)	課題9/(ウ)・(エ)	課題7/(ア)・(イ)	課題4-②/(ア)・(イ)	課題8/(ア)
	課題2/(ウ)・(エ)	課題2/(ウ)・(エ)	課題1/(ア)・(イ)	課題1/(ア)・(イ)	課題9/(ウ)・(エ)	課題7/(ア)・(イ)	課題4-②/(ア)・(イ)	課題8/(ア)
	課題2/(ウ)・(エ)	課題2/(ウ)・(エ)	課題1/(ア)・(イ)	課題1/(ア)・(イ)	課題9/(ウ)・(エ)	課題7/(ア)・(イ)	課題4-②/(ア)・(イ)	課題8/(ア)
11:00	課題2/(ウ)・(エ)	課題2/(ウ)・(エ)	課題1/(ア)・(イ)	課題1/(ア)・(イ)	休	休	休	休
	課題2/(ウ)・(エ)	課題2/(ウ)・(エ)	課題1/(ア)・(イ)	課題1/(ア)・(イ)	休	休	休	休
	休	休	休	休	課題8/(ア)	課題9/(ウ)・(エ)	課題7/(ア)・(イ)	課題4-②/(ア)・(イ)
	休	休	休	休	課題8/(ア)	課題9/(ウ)・(エ)	課題7/(ア)・(イ)	課題4-②/(ア)・(イ)
	休	休	休	休	課題8/(ア)	課題9/(ウ)・(エ)	課題7/(ア)・(イ)	課題4-②/(ア)・(イ)
12:00	休	休	休	休	課題8/(ア)	課題9/(ウ)・(エ)	課題7/(ア)・(イ)	課題4-②/(ア)・(イ)
	休	休	休	休	休	休	休	休
	課題3/(ア)・(イ)	課題4-①/(ア)・(イ)	課題5/(オ)	課題6/(ア)	休	休	休	休
	課題3/(ア)・(イ)	課題4-①/(ア)・(イ)	課題5/(オ)	課題6/(ア)	課題4-②/(ア)・(イ)	課題8/(ア)	課題9/(ウ)・(エ)	課題7/(ア)・(イ)
	課題3/(ア)・(イ)	課題4-①/(ア)・(イ)	課題5/(オ)	課題6/(ア)	課題4-②/(ア)・(イ)	課題8/(ア)	課題9/(ウ)・(エ)	課題7/(ア)・(イ)
	課題3/(ア)・(イ)	課題4-①/(ア)・(イ)	課題5/(オ)	課題6/(ア)	課題4-②/(ア)・(イ)	課題8/(ア)	課題9/(ウ)・(エ)	課題7/(ア)・(イ)
13:00	課題3/(ア)・(イ)	課題4-①/(ア)・(イ)	課題5/(オ)	課題6/(ア)	課題4-②/(ア)・(イ)	課題8/(ア)	課題9/(ウ)・(エ)	課題7/(ア)・(イ)
	課題3/(ア)・(イ)	休	休	休	課題4-②/(ア)・(イ)	課題8/(ア)	課題9/(ウ)・(エ)	課題7/(ア)・(イ)
	休	休	休	休	休	休	休	休
	休	休	休	休	休	休	休	休
	課題6/(ア)	課題3/(ア)・(イ)	課題4-①/(ア)・(イ)	課題5/(オ)	休	休	休	休
	課題6/(ア)	課題3/(ア)・(イ)	課題4-①/(ア)・(イ)	課題5/(オ)	休	休	休	休
14:00	課題6/(ア)	課題3/(ア)・(イ)	課題4-①/(ア)・(イ)	課題5/(オ)	休	休	休	休
	課題6/(ア)	課題3/(ア)・(イ)	課題4-①/(ア)・(イ)	課題5/(オ)	休	休	休	休
	課題6/(ア)	課題3/(ア)・(イ)	課題4-①/(ア)・(イ)	課題5/(オ)	休	休	休	休
	休	課題3/(ア)・(イ)	休	休	作品展示	作品展示	作品展示	作品展示
	休	休	休	休	作品展示	作品展示	作品展示	作品展示
	休	休	休	休	休	休	休	休
15:00	課題5/(オ)	課題6/(ア)	課題3/(ア)・(イ)	課題4-①/(ア)・(イ)	休	休	休	休
	課題5/(オ)	課題6/(ア)	課題3/(ア)・(イ)	課題4-①/(ア)・(イ)	休	休	休	休
	課題5/(オ)	課題6/(ア)	課題3/(ア)・(イ)	課題4-①/(ア)・(イ)	休	休	休	休
	課題5/(オ)	課題6/(ア)	課題3/(ア)・(イ)	課題4-①/(ア)・(イ)	休	休	休	休
16:00	休	休	休	休	休	休	休	休
	休	休	休	休	休	休	休	休
	課題4-①/(ア)・(イ)	課題5/(オ)	課題6/(ア)	課題3/(ア)・(イ)	休	休	休	休
	課題4-①/(ア)・(イ)	課題5/(オ)	課題6/(ア)	課題3/(ア)・(イ)	休	休	休	休
	課題4-①/(ア)・(イ)	課題5/(オ)	課題6/(ア)	課題3/(ア)・(イ)	休	休	休	休
17:00	課題4-①/(ア)・(イ)	課題5/(オ)	課題6/(ア)	課題3/(ア)・(イ)	休	休	休	休
	休	休	休	休	休	休	休	休
	休	休	休	休	休	休	休	休
	作品展示	作品展示	作品展示	作品展示	作品展示	作品展示	作品展示	作品展示
	作品展示	作品展示	作品展示	作品展示	作品展示	作品展示	作品展示	作品展示